

しあわせ

迎春号

vol.
09

2015年1月

2015年

謹賀新年



各施設の最新情報をお届けします！

〔施設ナウ！〕

京都市桂川療護園 臨床美術サークル
京都桂川園 園長 鎌田 松代

〔タイムリー〕

法人の監事として…………… 監事 桑木 肇

〔法人との出会い⑥〕

法人誕生から100年！…………… 会長 松原義人

〔トピックス〕

法人職員 2,200名

法人誕生より100年



社会福祉法人 京都社会事業財団
Kyoto Social Welfare Foundation

各施設の所在地

京都桂病院
京都桂看護専門学校
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
成逸センター
京都厚生園
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
西陣病院
北野保育園
京都厚生園松尾の家
京都厚生園山田の家
つばさ園
ゆずの木ホーム
松陽児童館
ライフ・イン京都
二条保育園
二条保育園
昭和保育園
京都桂川園
玉頭の家
京都桂川園久世障害サービスセンターショートステイ



社会福祉法人 京都社会事業財団

Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地(京都桂病院内) TEL075-391-5811代(内線8606) / FAX075-393-0140
URL <http://kyoto-swf.com> E-mail honbu@kyoto-swf.com

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/しあわせ編集委員会 発行日/2015年1月25日 印刷/有限会社 アクト

法人誕生から

100年！



社会福祉法人 京都社会事業財団
会長 松原 義人

明けましておめでとうございます！
皆様には、お健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

当法人は、大正4年（1915）に創設された「中央慈善協会 京都府支部」を起源としております。その後、社会情勢の変化とともに「京都府慈善事業協会」、「京都府社会事業協会」、「京都府厚生事業協会」等と名称、組織の改変が行われました。最終的に、昭和27年（1952）社会福祉法人京都社会事業財団と改称し、現在に至っております。創設当初の事業内容は定かではありませんが、大正9年（1920）創設の財団法人「京都共済会」が同年開設した「西陣託児所」（現 北野保育園）に続き、昭和3年（1928）に「昭和保育園」、さらに昭和9年（1934）に「西陣診療所」（現 西陣病院）をそれぞれ開設し、また保育園（後に京都共済会に移管）

が昭和8年（1933）「第二社会館保育園」（現二条保育園）を開設し、これらの施設が当初からの事業を現在も行っております。なお、財団法人「京都共済会」は昭和14年（1939）に財団法人「京都府社会事業協会」に統合されました。

現在では創設当時とは異なる多くの事業を当法人は展開していますが、社会福祉の精神は変わることなく引き継がれていると思います。

法人誕生から100年の記念すべき年となり、新規事業である情緒障害児短期治療施設（情短施設）「ももの木学園」の建築工事が行われています。この機会に情短施設の概要についてご紹介します。

情短施設は第一種社会福祉事業である児童福祉施設で、心理的な問題や苦しみを抱え日常生活の多岐にわたり支障をきたしている子どもたちに、医療的な観点から生活支援を基

盤とした心理療法を中心に、学校教育との緊密な連携による総合的な治療・支援を行う施設です。すなわち、心理（情緒）的・環境的に不適應のため生きづらさを感じている子どもとその家族を援助対象とし、施設への短期入所あるいは通所および家族療法・外来相談等により子どもたちの社会適応能力の回復、育成を図り、地域で生き生きと自信を持って生活していけるように援助して、将来健全な社会生活を営むことができるようになることを目指す心理治療施設です。

新しい情短施設「ももの木学園」は、かねてから懸案であった児童養護施設「つばさ園」の改築と併せて、つばさ園の敷地内に合築し平成28年4月の開所を予定しています。工事は近隣の施設にはご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をよろしく願っています。年頭にあたり、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。

法人との出会い 6

法人の監事として



監事
桑木 肇

平成20年12月1日から新たな公益法人制度が始まりました。これまでの民法34条の社団法人・

財団法人は5年間の猶予期間（平成25年11月まで）に新制度の公益社団・公益財団法人になるか、一般社団・一般財団になるか、あるいは別の法人形態に移行するかを選択しなければならぬという、明治29年以來の112年ぶりの大幅な制度改革でした。

私は、公認会計士としてこの移行に関するコンサルティング業務を行っていた関係で、ある方から財団法人京都ライフクリエイト事業団が公益財団法人への移行を検討されているとのこと、松原理事長、明石ホーム長にお会いして移行に関する仕事をさせて頂くことになりました。

新制度上の公益事業の範囲は非常に厳しく、公益認定を受けるのは難しいとの判断で、社会福祉法人京都社会事業財団に事業を譲渡し、今日に至っています。

この仕事のご縁で、松原理事長より社会福祉法

人の監事にとのお話で引き受けさせて頂いた次第です。

私は、30年以上にわたって監査法人で上場会社の会計監査と上場を希望している会社の上場のためのコンサルティング、M&A業務等を行ってきました。

その間に、上場企業のトップの方々に接して、人間としてどう生きるのかという根源的問題について考えさせられました。資格だけではダメで、もつと真剣に生きなければ、もつともつと勉強しなければと、自分の不甲斐なさに恥じ入ったことを思い出します。

監査法人を退職後に個人事務所を開業していますが、税務業務は一切おこなわず、現在、東証1部上場会社2社の社外取締役と東証2部上場会社1社の社外監査役に就任しており、また、公益財団法人の2法人の監事に就任しています。

これまでの私の経験を当法人の監事業務に活かしていければと思っています。

財団・社団法人、社会福祉法人の運営については、営利法人と同様に経営の健全性・透明性・効率性・法令遵守体制等の確保の観点から、社会の利害関係者の期待に応えるためのガバナンス（統治）体制の整備・構築が必要となります。すなわち、理事会、評議員会の機能強化、内部統制システムの整備・運用等が要請されます。当法人は様々な分野の事業で多くの職員が働いておられます。先に述べた法人の経営の健全性、透明性、効率性、法令遵守等の確保には、内部統制システムを整備・構築し、適切に運用することが必要です。内部統制の整備・運用については書けば大変な量になるので省きますが、金銭面のミスや不正を防ぐための「ダブルチェックの原則」だけは、しっかり機能するシステムしておくことが必要です。

最後になりましたが、母親がライフ・イン京都のケアセンターひまわりに入居させて頂き、4年半の間、皆様に心のこもったケアをして頂きました。ライフ・イン京都の素晴らしきをもっと多くの方々に知って頂きたいと思っています。

賀正



施設ナウ!

各施設の最新情報をお届けします!



京都桂病院

第3回 大規模災害対策訓練開催

当院でこの処12月の恒例になっている、第3回大規模災害対策訓練を12月6日(土)午前9時より行いました。



今回も京都市内で震度6弱の地震が発生した想定で、災害対策本部の立ち上げと病棟から集中治療室への患者搬送、外来での患者対応など緊迫感に包まれた中、各人の役割分担を確認しつつ訓練が行われました。

災害対策本部となったホールでは野口院長を本部長とし、院内を伝令役がアクションカードを基に各部署の被災状況報告書を収集に走り本部へ帰り報告するなど150名余りの参加を得て本番さながらの訓練を行いました。

当院では『災害は忘れたころにやってくる』を肝に銘じて今後も対応を進めてまいります。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL: (075) 391-5811(代) FAX: (075) 381-4224
E-mail: info@katsura.com

西陣病院

平成26年度西陣病院忘年会

恒例の病院忘年会を去る平成26年12月13日に市内ホテルにて開催し、昨年に引き続き、本年も300名を超える職員が出席し盛大な会となりました。



伊谷院長の開会挨拶の後、鏡開きや永年勤続表彰などを行いました。本年度は20名の永年勤続受賞者があり、院長が一人ひとりに声をかけながら表彰状を授与しました。受賞者の中には、表彰時に家族からの手紙が院長により紹介され、本人だけでなく手紙を読んでいる院長が感動のあまり思わず声を詰まらせる場面があったり、仮装しての組体操やダンス披露などもあり、まさに涙あり笑いありの西陣病院らしい温かい忘年会になり、皆で今年を振り返り来年への英気を養いました。

〒602-8319 京都市上京区今出川通七本松上ル
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514
E-mail: nisijin@nisijin.net

京都桂川園

教える喜び ~伝承への取り組み~

桂東学区社会福祉協議会は毎年『小学生との交流のつどい』を桂東小学校で開催されています。今年は老人デイサービスの利用者さんが戦争体験や昔のくらしと遊びの体験発表と一緒に…との声がかかり11月18日に3年生の授業に訪問。たらいや洗濯板を持参し、子供達に見て体験してもらいました。また、利用者さんが手作りした「おじゃみ」「けん玉」「カルタ」で昔遊びを一緒にして大盛り上がり!!



利用者さんは未来を担う子供達に戦争の悲惨さや不便な暮らしを『伝え・教え』、そのパワーはとて頼もしく強いエネルギーを感じます。子供達からは「戦争は二度としてはいけない」などの感想をもらいました。利用者さんが「できること」への発見と喜びから自らの生活意欲向上につながってほしいと願います。

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640
E-mail: info@katsuragawaen.com

京都厚生園

感謝! 成逸センター開設10周年

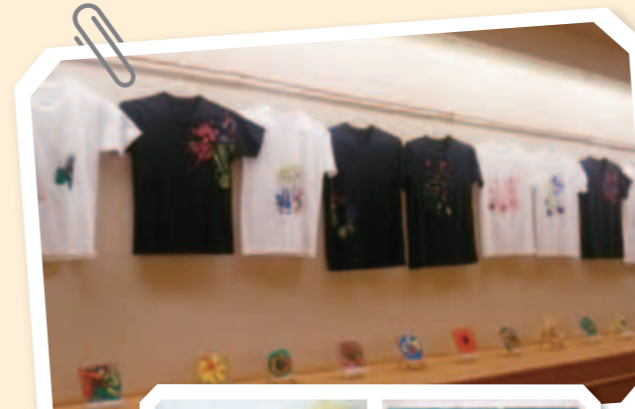
平成26年11月16日(日)成逸センター開設10周年記念式典・イベントを開催いたしました。



当日は来賓の皆様・地域の皆様・ご利用者・ご家族等たくさんの皆様にご来場をいただき、温かい声援をいただきました。改めて成逸センターは地域に支えられてこれまで来られたのだと職員一同感激いたしました。今後も地域の中の福祉施設として、住民の皆様にあってよかったと感じていただける福祉拠点を目指してまいります。

これからも、益々ご支援・ご指導を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL: (075) 392-7870(代) FAX: (075) 392-0191
E-mail: kswf@kyotokouseien.com



◀Tシャツとひまわりのラコッテ

京都桂川園からのメッセージ

京都市桂川療護園 臨床美術サークル

京都桂川園 園長 鎌田 松代



◀展示作品の一部

「臨床美術という言葉を知りました。みなさんの心の表現のすばらしさ、心を拓いていく技に感動します。動けない人が、こんなにも動いていられる。動ける私も『動かない』と刺激をうけました。色がすばらしい。」(Kaさん)

これは昨年8月10日から9月25日まで京都桂川園のA棟ギャラリーで開催した「京都市桂川療護園臨床美術サークル作品展」の様子です。「作品を通じて、さまざまな方との交流や、障害者理解が深まった」と職員は感激し、利用者さんは感動でした。自身の作品でこのような感想をいただく体験は初めてで、自信を増した顔が印象的でした。

サークル活動は、毎月第二土曜日の午後1時～2時半に開催しています。

参加者はほぼ固定の12名で、四肢不自由のため身体障害者手帳1級を交付された方々です。職員2名、認定資格の臨床美術士が6名ほど一緒にいます。

作品の制作過程では、絵を描くまでの導入がユニークです。りんごが題材でしたら、りんごの唄をうたい、切つてさまざまな形を見る、食べる、香りを楽しむ、触るなど五感で感じてから描き始めます。作品が完成した後の合評会が一番うれしい時間です。「う



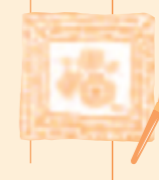
京都新聞(2014年9月10日)に京都市桂川療護園臨床美術サークル作品展の様子が掲載されました。

臨床美術とは…

「独自のアートプログラムで創作活動を行うことで脳が活性化し、認知症症状の改善を目的として開発された。臨床美術士が参加者にそった働きかけをすることで、その人の意欲と潜在能力を引き出していく」ものです。

「まい、上手」の表現は「ご法度です」。「この色使い素敵です」「最後に入ったこの線が全体を引き締めています」など、自分では思わなかったような見方をしただけ、これが利用者さんのこころの安定と自信につながっているように感じます。

貴重な今回の経験を活かし、利用者さんの持っている能力を最大限に発揮できる活動環境をさらに創っていきます。





施設ナウ!

各施設の最新情報をお届けします!



北野保育園

紅葉最高! 笑顔満開!

お友達と北野天満宮や船岡公園へお散歩。御室双ヶ丘(一の丘・二の丘・三の丘)への遠足では、山の頂上へ登ってヤッホー! 又、大宮交通公園や宝が池子どもの楽園では、広いところを思いっきり走って遊び、秋の自然を満喫した子ども達です。



紅葉や銀杏の葉を集めて葉っぱのシャワーをしてみたり、お日様にあたってきれいな葉っぱを「キラキラしてきれい〜光ってる! まっかかやね!」と子ども達の見たまま、感じたままの素直な言葉と笑顔が満開でした。

励まし合いながらいっぱい歩いたり、色々な集団あそびを通して友達関係も深まりお互いを思いやる心が育ってきています。

〒602-8318 京都市上京区老松町103-60
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128
E-mail: kyoto.kitanohoikuen@spice.ocn.ne.jp

松陽児童館

地域交流を目指して

12月6日児童館で初めて「フリーマーケット」を開催しました。出店数15ブース(手作り品・古着・野菜・花苗等)の他、手作りかばん・ポーチ、お弁当箱等の寄贈を受け、多くのお客さんと賑わいました。12月はクリスマス会、マリンバ演奏会もありました。



児童館は子育て支援や学童クラブを通して地域の様々な世代、異年齢の人と人の出会いの場であり、それぞれが交流し繋がりあう場でありたいと思っています。

2月7日はお餅つき大会です。たんぼ広場ボランティアの方々、学童クラブ保護者会の協力を助け、地域の皆様に来ていただきつきたてのお餅をみんなで食べたいと思っています。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp

にしがも透析クリニック

透析20床 この春に満5周年

当クリニックはこの春に開設5周年を迎えます。開設当初は隣接するにしがも舟山庵に入居する透析患者さまと、近隣にお住まいの透析患者さまあわせて約10名程度でスタートしました。



最大ベッド数は通常透析用のベッド18床とインフルエンザなどの感染症罹患時に使用するための隔離ベッド2床としてきましたが、年々増加する利用者数に対応するべく今年に入り一部改装を行い、隔離用ベッドを1床に減らして通常透析用のベッドを19床とし、現在38名の透析患者さまにご利用いただいております。

今後にもしがも舟山庵の高齢透析患者さまや近隣地域の透析患者さまのニーズに応えられる施設であるよう努力する所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

にしがも舟山庵

ボランティアさんに 感謝の気持ちを 込めて!!

冬にはお鍋やクリスマス会、初詣等が、それぞれのユニットごとに行われています。



写真はハーモニカ団体「さくらの会」に来ていただき、クリスマスのひと時を楽しまれた風景です。他のユニットからもたくさん参加され、思い思いに手を叩いてリズムをとられたり、口ずさまれたり、中には懐かしくて涙される方もおられました。

このように、様々なボランティアさんによって、ご入居者が季節を感じ、心に響くひと時を過ごして頂いています。他の様々なボランティア活動をして頂いている方々も含め、皆様には心より感謝申し上げます。

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp

二条保育園

無事カエル続報

すっかり二条の一員となった無事カエル。今日も子どもの安全をにこやかに見



守ってくれています。朝日に輝く無事カエル。朝一番の水浴びが大好き。(園長が願と水をかけています) 子どもたちの良き話し相手、広い心で黙って聞いてくれます。

だんだん寒さ増す冬の日、ある時から山茶花の花びらが一枚、それぞれのカエルの頭にのせられています。ほんのりピンクも似あうおしゃれなカエル。こんなかわいい姿にしてくれる子は誰? うわさしていると「うちの子がのせていますけどお邪魔になっていませんか? カエルが何だか寒そうだと言って…」「えーっ! こんな素敵なことしてくれるのは誰かになって。ありがとうね〜」3歳女児のかわいい仕業です。

〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019

昭和保育園

お散歩大好き

保育園で大切にしていることは、元気いっぱいの戸外活動です。特に子どもたちはお散歩が大好きなので、近くの鴨川や新幹線が見える場所、そして神社仏閣にも出かけて行きます。この日は保育園から七条通りを出て、東へ200m、さらに北へ300mの豊国神社あたりに出かけました。豊国さんから方丈寺への路はゆったり、のんびりしていて2歳児さんも頑張っているようになりました。ここはお正月明けに幼児さんも毎年初詣に行く所です。



さて、一年度の締めくくりの時期に向かい、2月は生活発表会、3月は卒園式、と年長児は卒園まであと少しですが一層頑張っています。本年もよろしくお願い申し上げます。

〒605-0902 京都市東山区鞆町通七条下ル
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743

つばさ園

つばさ園・情短施設 建設工事始まる

ついに、つばさ園・情短施設建設工事が始まりました。地域の方々には、騒音等御迷惑をおかけいたします。



私が施設長になった7年前の『夢』だった“小規模グループケア”が実現し、さらに情短ができることで今まで以上の手厚い職員が確保できます。うれしい気持ちはもちろんですが、一方で、実際動き出すとその事の重大さに身の引き締まる思いであります。さらに、実際に解体される建物を見ていると、そこに込められた先輩方々の思い、そこですごした子どもたちの思い、たくさんの思い出等々交錯し、柄にもなくしみじみする思いで工事をみつめております。

何を残すべきかをしっかり見極めながら、新しい事に臆することなく挑戦したいと思います。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

ライフ・イン京都

恒例のクリスマス ダンスパーティー!!

今年で第8回目となる恒例のクリスマスダンスパーティーを開催しました。毎週土曜日に講師の先生を迎え、入居者の皆様が一生懸命練習を重ねてこられた集大成! 素敵なドレスに包まれて、講師の先生や職員とステップを軽やかに踏まれている姿は本当に微笑ましく、そして、何より皆様が生き生きとされていることに私たち職員一同も感激でいっぱいでした。中には日頃車椅子の方もおられますが、講師の先生に支えられながらワルツを踊られていました。また、見学に来られた入居者の皆様も、ダンスフリータイムで楽しくステップを踏まれていました。



これからも、楽しいダンスパーティー等の行催事で、入居者の皆様の楽しい生活をサポートできるように頑張っていきます。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地の2
TEL: (075) 381-1870(代) FAX: (075) 381-1899
E-mail: lifeinkyoto@lifeinkyoto.or.jp